

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公開番号】特開 2007-264466 (P2007-264466A)

【公開日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2007-039

【出願番号】特願 2006-91932 (P2006-91932)

【国際特許分類】

G 1 0 L 13/08 (2006.01)

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 13/08 1 2 2

G 1 0 L 13/00 1 0 0 J

G 1 0 L 13/00 1 0 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 27 日 (2009.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音声読み上げを行う音声合成手段と；

特定の語句に特定の読み上げを関連付けるユーザ辞書と；

音声合成手段の音声読み上げを使用する複数の機能を具備し、

音声読み上げに上記ユーザ辞書を反映させる機能かどうかを設定する設定手段と；

上記設定手段の設定に従い、いずれの機能により音声読み上げが行われるかに応じて、
上記ユーザ辞書を反映させて上記音声合成手段に音声読み上げを行わせるか、上記ユーザ
辞書を反映させないで上記音声合成手段に音声読み上げを行わせるかを選択的に実行させ
る制御手段と；

を有することを特徴とする音声合成装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

上記音声合成手段は、複数の辞書を組み合わせ動作するモードを持ち、

上記モードは、音声合成処理を呼び出す音声合成機能から選択可能であることを特徴と
する音声合成装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、

上記音声合成手段は、ユーザ辞書を使って音声読み上げを行うモードと、ユーザ辞書機
能を使わずに音声読み上げを行うモードとの 2 つのモードを持ち、上記モードは、上記機
能から選択可能であることを特徴とする音声合成装置。

【請求項 4】

請求項 1 において、

上記機能がメール機能であるとき、

装置に予め登録されているメールアドレスから配信されたメールは上記ユーザ辞書を反
映させて音声読み上げを行い、

装置に予め登録されていないメールアドレスから配信されたメールは上記ユーザ辞書を

反映させないで音声読み上げを行うように、

上記制御手段は、上記音声合成手段に音声読み上げを行わせることを特徴とする音声合成装置。

【請求項 5】

請求項 1 において、

上記機能が、電話着信機能および電話帳機能であるとき、

装置に予め登録されている電話番号が対象となる読み上げを行う場合には上記ユーザ辞書を反映させて音声読み上げを行い、

装置に予め登録されていない電話番号が対象となる読み上げを行う場合には上記ユーザ辞書を反映させないで音声読み上げを行うように、

上記制御手段は、上記音声合成手段に音声読み上げを行わせることを特徴とする音声合成装置。

【請求項 6】

特定の語句に特定の読み上げを関連付けるユーザ辞書を使用する音声合成装置の制御方法において、

音声読み上げを行う音声合成工程と；

音声読み上げに上記ユーザ辞書を反映させる機能かどうかを設定する設定工程と；

上記設定工程の設定に従い、いずれの機能により音声読み上げが行われるかに応じて、

上記ユーザ辞書を反映させて上記音声合成工程に音声読み上げを行わせるか、上記ユーザ辞書を反映させないで上記音声合成工程に音声読み上げを行わせるかを選択的に実行させる制御工程と；

を有することを特徴とする音声合成装置の制御方法。

【請求項 7】

コンピュータに、特定の語句に特定の読み上げを関連付けるユーザ辞書を使用して音声合成を行わせるプログラムにおいて、

音声読み上げを行う音声合成手順と；

音声読み上げに上記ユーザ辞書を反映させる機能かどうかを設定する設定手順と；

上記設定手順の設定に従い、いずれの機能により音声読み上げが行われるかに応じて、

上記ユーザ辞書を反映させて上記音声合成手順に音声読み上げを行わせるか、上記ユーザ辞書を反映させないで上記音声合成手順に音声読み上げを行わせるかを選択的に実行させる制御手順をコンピュータに実行させるプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

上記のように、語句の読み上げに関して、膨大な対象範囲の読み上げ語句を読む機能や、プライバシーのある内容を読み上げる機能、また、プライバシーのない一般的な内容を読み上げる機能等、互いに性質が異なる複数の機能を、装置内に複数有する機器において、装置の中で共通に使用されるユーザ辞書の内容が、各機能に対して、共通に反映され、ユーザ辞書に登録された語句によっては、都合に合わない機能が発生するという問題がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２７】

本発明は、音声読み上げを行う音声合成手段と、特定の語句に特定の読み上げを関連付けるユーザ辞書と、音声合成手段の音声読み上げを使用する複数の機能を具備し、音声読み上げに上記ユーザ辞書を反映させる機能かどうかを設定する設定手段と、上記設定手段の設定に従い、いずれの機能により音声読み上げが行われるかに応じて、上記ユーザ辞書を反映させて上記音声合成手段に音声読み上げを行わせるか、上記ユーザ辞書を反映させないで上記音声合成手段に音声読み上げを行わせるかを選択的に実行させる制御手段とを有することを特徴とする音声合成装置である。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００６１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００６１】

このために、特定の個人名等について、特殊な読み上げ方をするようにユーザ辞書データ４０４を、機器に設定し、この設定内容を反映して読み上げると、内容を正しく伝えることができない。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００６２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００６２】

すなわち、音声合成機能のユーザ辞書データ４０４に、「THX」＝「THE HOUSTON EXPLORATION」と読むように、ユーザが登録すると、電話機能としては、宛先や着信相手の名称として最適な読み上げを行う。しかし、一方で、この機器のWEB機能を用い、映画関連のサイトを閲覧した場合、たとえば、「The THX system is not a recording technology」というサイトの文章は、「The THE HOUSTON EXPLORATION system is not a recording technology」という読み上げになり、音声合成機能による音声では、内容を正しく伝えることができない。